

交差点 左折のゴミ収集車に巻き込まれ

横断歩道を渡ろうとしていた女性死亡

運転手からは、基準値を超えるアルコール

被害者女性の遺族は、

「飲酒運転は許されるべきではない。殺人に等しい」と強い口調で話した

飲酒運転の常習犯をドライバーとして雇っていたことや

乗車前の呼気検査を実施していなかったことなど...

男の勤務先である衛生会社にも問題があると指摘

2019年07月19日 14時25分

14日早朝、台湾の交差点で、横断歩道を渡ろうとしていた女性（81）が、左折のゴミ収集車の前輪に巻き込まれる事故があった。

運転していたのは民間の環境衛生会社員の男（45）で、基準値を超えるアルコールが検出された。

男は飲酒運転による逮捕は4度目で、過去の飲酒運転により免許取り消しになっていたという。

ゴミ収集車の助手席に乗っていたスタッフから「何かひいたのでは」と言われ、運転手の男が車を降りて駆け寄ったところ、女性は頭から血を流して倒れていたという。女性は病院へ運ばれたが死亡が確認された。

調べに対して男は「死角だった」と供述し、アルコールについては前日の夜に薬酒を飲んだことを話した。

事故当日の出勤時間は午前4時30分だったという。

被害者女性の遺族は、メディアの取材に「飲酒運転は許されるべきではない。殺人に等しい」と強い口調で話し、飲酒運転の常習犯をドライバーとして雇っていたことや乗車前の呼気検査を実施していなかったことなど男の勤務先である衛生会社にも問題があると指摘。

「納得のいく法の裁きをしてほしい」と訴えた。